

専門英語（2年）

責任者・コーディネーター	病理学講座(病態解析学分野) 入江 太朗 教授				
担当講座(分野)	教養教育センター外国語学科英語分野、 解剖学講座(機能形態学分野)、解剖学講座(発生生物・再生医学分野)、 生理学講座(病態生理学分野)、生化学講座(細胞情報科学分野)、 病理学講座(病態解析学分野)、微生物学講座(分子微生物学分野)、 薬理学講座(病態制御学分野)、医療工学講座				
対象学年	2	区分・時間数		講義/演習	実習
期間	通期		前期	13.5時間	0.0時間
			後期	13.5時間	0.0時間

学修方針（講義概要等）

教養課程で履修した英語の理解度をさらに深めるため、グループワーク、ディスカッション、ディベートなどのアクティブ・ラーニングを活用した繰り返し演習・講義を実施する。本科目の修得により、医学・歯学で使用される基礎的な英語基本用語を再確認できる。3年次の医療リベラルアーツにおいて実施される専門英語の演習を行うに足る十分な歯学専門英語の知識を確実に身につけることができる。

教育成果（アウトカム）

医学・医療のグローバル化、先進化にともない、歯科医学・医療についての情報を収集する場面、増加する外国人の歯科診療を行う場面など、様々な場面で、英語を用いたコミュニケーションを行うことが必要とされる。専門英語では、1) 医学の共通語としての医学（歯科）用語を学び、臨床実習のケースプレゼンテーションや歯科医師国家試験における“歯科医学、医療分野で必要とされる英語”に備えるとともに、2) 教養課程で学んだ英語をさらに発展させ、専門論文などを読む上で必要な読解力を習得することで、総合的なコミュニケーションスキルを高める。

（関連するディプロマポリシー：7、8）

事前事後学修の具体的内容及び時間

事前学修については、各回到達目標の内容に関し教科書あるいは2D専門英語テキストを用いて調べるものとし、各回最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとし、適宜、講義冒頭で事前学修内容の発表時間を設ける。

（事前学修：最低30分を要する 事後学修：最低30分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	4/4 (火)	3	柳谷千枝子講師 (外国語学科英語分野)	医学・歯学英语の基礎Ⅰ 医療（病気や症状など）に関連した英語や表現を理解する。 医療に関連したトピックを読む。	1. 病気や症状など医療に関連した英語を理解し、正確に読み、書き、発音できる。 2. 医療に関連した英文を読んで、要点を説明できる。 [A-7-2)-①]
	4/5 (水)	3			
講義	4/11 (火)	4	柳谷千枝子講師 (外国語学科英語分野)	医学・歯学英语の基礎Ⅱ 歯学に関連した英語や表現を理解する。 歯学に関連したトピックを読む。	1. 歯学に関連した英語を理解し、正確に読み、書き、発音できる。 2. 歯学に関連した英文を読んで、要点を説明できる。 [A-7-2)-①] [A-9-1)-②]
	4/25 (火)	4			
	5/2 (火)	4			
講義	5/9 (火)	4	松田竜宙助教 (外国語学科英語分野)	医学・歯学英语の基礎Ⅲ 医療現場で使用する英語表現を理解する。 英文の構造と内容を理解する。	1. 医療現場で使用する英語を理解し、応用できる。 2. 会話や英文の内容を、口頭または文章で表現できる。 [A-7-2)-①]
	5/11 (木)	4			
講義	5/16 (火)	4	松田竜宙助教 (外国語学科英語分野)	医学・歯学英语の基礎Ⅴ 医療に関連した英語や表現を理解する。 様々な医療に関連したトピックを読む。	1. 医療に関連した英語を理解し、正確に読み、書き、発音できる。 2. 医療に関連した英文を読んで、要点を説明できる。 [A-7-2)-①]
	5/23 (火)	4			
講義	10/16 (月)	1	James Hobbs教授 (外国語学科英語分野)	医学・歯学の基本用語Ⅰ -語根と接尾辞 基礎的な医学・歯学用語を理解する。	1. 医学・歯学分野の基礎的な英語用語を理解することができる。 2. 医学・歯学用語の成り立ちと基本構造を学ぶ。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。 [A-7-2)-①]
	10/23 (月)	1	機能形態学分野 発生生物・再生医学分野 細胞情報科学分野 病態生理学分野 医療工学講座 病態解析学分野 病態制御学分野 分子微生物学分野		

講義	10/30 (月)	1	James Hobbs教授 (外国語学科英語分野)	医学・歯学の基本用語Ⅱ -接尾辞 基礎的な医学・歯学用語 を理解する。	1. 医学・歯学分野の基礎的な英語 用語を理解することができる。 2. 医学・歯学用語の成り立ちと基 本構造を学ぶ。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態 度を身につける。 [A-7-2)-①]
	11/6 (月)	1	機能形態学分野 発生生物・再生医学 分野 細胞情報科学分野 病態生理学分野 医療工学講座 病態解析学分野 病態制御学分野 分子微生物学分野		
講義	11/20 (月)	1	機能形態学分野 発生生物・再生医学 分野	医学・歯学の基本用語Ⅲ 基礎的な医学・歯学用語 を理解する。	1. 医学・歯学分野の基礎的な英語 用語を理解することができる。 2. 医学・歯学用語の成り立ちと基 本構造を学ぶ。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態 度を身につける。 [A-7-2)-①]
	11/27 (月)	1	細胞情報科学分野 病態生理学分野 医療工学講座		
	12/4 (月)	1	病態解析学分野 病態制御学分野		
	12/11 (月)	1	分子微生物学分野		
講義	1/15 (月)	1	入江太朗教授 (病理学講座 病態解 析学分野)	医学・歯学の基本用語/ 演習 (到達度評価試験)	1. 客観的な評価 (到達度評価試 験) をうけ、達成度と理解度を 知る。 2. 結果のフィードバックをうけ、 英語での理解度、コミュニケーション 力の向上をはかる。 [A-7-2)-①]

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	Medical Terminology A short course 9th ed.	Davi-Ellen Chabner	Saunders	2023年
参	Dental Terminology 3rd ed.	Charline M Dofka	Delmar Cengage Learning	2013年

成績評価方法・基準・配点割合等

総合評価：前期試験(1/2)と後期到達度評価試験(1/2)
 前期は、ハンドアウトを使用して講義をおこなう。中間試験2回と前期試験を行う。
 後期は、個々の英語力の多様なレベルに対応できるよう、少人数のグループ学修（基礎系8講座（分野）の教員等が担当）の形式でおこない、使用するテキストを配布する。到達度評価試験により達成度と理解度を評価する。

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用等）

WebClassにテキストの音声ファイルを公開するので、活用すること。
 到達度評価試験により達成度と理解度を評価し、試験答案の返却（フィードバック）をおこなう。各回到達目標の内容を使用するテキストとともに事前に教科書で調べることを。各回30分を目安とする。各々個人で、英語での理解度、コミュニケーション力の向上に努めること。

授業に使用する機械・器具と使用目的 …特記すべき器械・器具等はありません。

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的